

# ジオ彩都いろどりの丘

Geo Saito Irodori no oka

No. 21-036-2024作成  
新築  
集合住宅

発注者	阪急阪神不動産株式会社	カテゴリー	
設計・監理	株式会社フジタ一級建築士事務所 Fujita Corporation	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO2技術
施工	株式会社フジタ大阪支店	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
		E. リニューアル	F. 長寿命化
		G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性
		K. その他	

## 約30,000㎡の敷地を彩る豊かな植栽計画による、街並みと景観の形成

### 設計概要

北摂山系の豊かな自然環境の中に位置する本計画は、30,000㎡を超える敷地に5棟の住棟からなる、総戸数372戸の共同住宅のプロジェクトである。周辺の街並みと連携し、山並みや自然環境に寄与する景観と快適な住環境を実現する。敷地全体が傾斜地であったが法面を極力崩さず、敷地条件を最大限に活かした配棟計画とし、緑地率約40%・約7,000本の植栽計画を実現させた。川合裏川から連続性のある在来種高木を選定し、年月をかけて生育する将来が楽しみな山並み・街並みになっている。環境配慮事項として、1工区はZEH-M Oriented、2工区はZEH-M Readyを取得。全住戸に家庭用燃料電池ユニット（エネファームtypeS）を設置する等、高断熱・高効率設備を搭載し、環境負荷軽減にも配慮した計画としている。



配置図



緩やかな斜面を活かしたエントランス廻りの植栽



敷地東側はかつての山並みが復元されることを目指す



周辺地域と連続させた街角広場



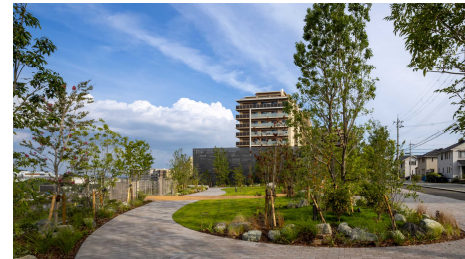
街路イメージ(基本計画時)

### 周辺地域と連続させた緑豊かな街並みの形成

建物への導入部であるエントランスアプローチは、緩やかな斜面を活かした「ガーデンスタイルの庭」をランドスケープコンセプトとした。法面の足元には、計画敷地内を掘削した際に出土した石を外構計画に活用し、石の力強さと緑の繊細さを合わせ持つロックガーデンを表現している。本計画の南側には同事業主の集合住宅があり、道路沿いにメタセコイアを列植し、街角広場を一体的に設けることで緑溢れる街並みを形成している。

### 地域に開かれたコミュニティガーデン（公開空地）

敷地北側にあるコミュニティガーデンは、芝生広場を中心としたシンプルな構成の中に、高台立地を活かし北摂山系を望む展望デッキを設けた。アートファニチャーや四季折々の花や樹が彩り、入居者がゆっくりと寛げる空間とした。敷地西側の歩行空間は、4mの幅広い歩道に接することを活かし、ツリーサークルをリズムカルに配置してコミュニティガーデンまで人々を誘導する。樹種の選定においては大阪府に自生する樹種を敷地全体で24%使用し、自然植生に配慮した。



コミュニティガーデン



緑溢れる歩行空間（西側）

展望デッキ

### 住戸内の環境配慮事項

住棟は環境配慮としてZEH対応を行っており、BELS認証においては最高ランク5つ星評価を取得し快適な住環境と省エネを備えた次世代基準の住宅とした。エネファーム typeSは、停電時にも最大700W発電する自立運転型を採用し、レジリエンス性にも配慮した。

- 燃料発電電池ユニット（エネファーム typeS）
- アルミ樹脂複合サッシ
- 高効率エアコン



### 設計担当者

統括：藤井新也/建築：藤井新也、八木知代、宮田奈都子/  
構造：山口修司/設備：三好椋太、安藤映里奈

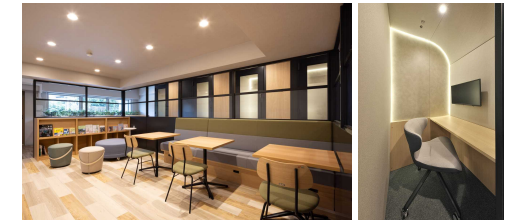


エネファーム typeS

### 多機能な共用施設の工夫

ニューノーマルに対応した多機能な共用施設を設けた。

- 在宅ワークに利用できるコワーキングルームは、近隣マンションにも開放する形とすることで、マンション内に留まらないコミュニティの醸成に繋げている。
- D棟ホールには、大阪府産の檜を使用したオブジェやスツールを配置し、地産地消に配慮している。
- 入居者が利用できる家庭菜園は、子どもの食育、土に触れ、育てる楽しさを学ぶ一助を担う。



コワーキングルーム

個室ブース



大阪府産の檜を使用したオブジェ

家庭菜園スペース

### 脱炭素社会づくりへ

- 住棟屋上に太陽光パネルを設置し、自然エネルギーを共用部の一部照明に利用。
- 電気自動車をカーシェアとして導入。災害時は非常用発電機としての利用が可能。
- 飲料水の備えとして災害用ベンダーを設置。緊急時は自販機内の飲料を無償で提供することが可能。



非常用に使えるEV充電設備

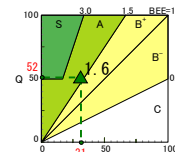


太陽光パネル



災害対応ベンダー

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	大阪府箕面市	Aランク
竣工年	2024年	BEE=1.6
敷地面積	30,689㎡	2016年度版
延床面積	34,430㎡	自治体提出
構造	RC造	
階数	地上10階 地下0階	
	省エネルギー対策 等級5	
	(1工区)	
	ZEH-M Oriented取得	
	(2工区)	
	ZEH-M Ready取得	



### 主要な採用技術（CASBEE準拠）

- 断熱性能の向上（高断熱仕様、アルミ樹脂複合サッシ）
- 生物環境の保全と創出（高い緑化率、家庭菜園）
- まちなみ・景観への配慮（周辺環境への調和・街並みの形成）
- 地域性・アメニティへの配慮（地域へ開放した広場、歩道を計画）
- 建物の熱負荷抑制（住宅性能表示制度 省エネ等級5）